

令和5年度 事業報告

1. 法人の概要

(1) 基本情報

- ① 法人名 学校法人群馬英数学館
- ② 住所 群馬県前橋市古市町1-35-6
- ③ 電話番号 027-280-6833
- ④ FAX番号 027-252-5814
- ⑤ HP <http://gunei.ac.jp>

(2) 建学の精神

- ① つねに国際的な視野に立ち、博愛の精神の高揚によって世界平和に貢献することを目指す
- ② 人類共通の願望は「健全なる身体と心」であることに鑑み、東洋医学による治癒技術の教育と錬磨の実現にある
- ③ 信条として「学不而厭、教不而倦」（学びていとわず、教えて、倦まず）を掲げ「不撓不屈」の精神を養う

(3) 学校法人の沿革

昭和 30 年	10 月	大利根塾群馬高等予備校が福井松太郎氏によって設立される。
昭和 33 年	12 月	個人経営から法人経営に移行、準学校法人大利根学園群馬高等予備校となる。
昭和 35 年	7 月	福井理事長急逝により中村有三氏理事長となる。
昭和 36 年		群馬高等予備校を群馬英数学館と名称変更する。
昭和 38 年	4 月	群馬英数学館は、学校法人大利根学園が設立者となる。
昭和 55 年	4 月	群馬英数学館を古市町に校舎移転。
平成 2 年	4 月	学校法人大利根学園から学校法人群英学園と名称変更
平成 17 年		創立 50 周年
平成 18 年	4 月	育英メディカルサイエンス専門学校 鍼灸学科（昼間部、夜間部） 柔道整復学科（昼間部、夜間部）開校 群馬英数学館（予備校）の校舎を本町に移転
平成 20 年	4 月	育英メディカル専門学校に名称を変更
平成 22 年	4 月	群馬英数学館大学進学科（予備校） 閉校
平成 23 年	4 月	学校法人群英学園から学校法人群馬英数学館と名称変更する。
平成 27 年	3 月	育英メディカル専門学校 鍼灸学科 夜間部 閉校
令和 4 年	4 月	鍼灸学科および柔道整復学科 I 部（午前部）開校 予防医学コースおよびトレーナー専科コース 開設
令和 6 年	3 月	育英メディカル専門学校 柔道整復学科 夜間部 閉校

(4) 設置する学校・学部・学科および学生数（定員は各学部 30 名）

学科	学部	1 年	2 年	3 年
鍼灸学科	I 部	24	19	—
	II 部	26	23	—
	昼間部	—	—	31
柔道整復学科	I 部	25	17	—
	II 部	24	12	—
	昼間部	—	—	24
	夜間部	—	—	17
合計		99	71	72

(5) 役員および評議員の概要

職名	選出条件	氏名	就任年月日	現職名
理事	設立功労者その縁故者	中村義寛	H17.6	群馬英数学館 理事長
	設置する学校の長	中村有香	H24.4	育英メディカル専門学校 校長
	評議員からの選出	新井信雄	R2.6	育英メディカル専門学校 参与
		山田 信	H17.6	群馬プロゴルフショップ 取締役
	学職経験者	池田教克	H29.6	池田鍼灸治療院 院長
		山田耕介	R2.6	前橋育英高等学校 学監
		北上貴史	R5.6	育英メディカル専門学校 鍼灸学科長
監事		福島英人	H29.6	福島産業株式会社 代表取締役
		前田 宏	R5.6	株式会社マエダスタジオ 常務取締役
評議員	設立功労者その縁故者	中村 操	R5.6	前 中村学園 理事長
	設置する学校の長	中村有香	H24.4	育英メディカル専門学校 校長
	この法人の職員	梅山理恵	H20.6	育英メディカル専門学校 副校長
		金子充夫	R5.6	育英メディカル専門学校 柔整学科長
		手島一貴	R3.6	育英メディカル専門学校 事務長
		川越 大	R4.4	育英メディカル専門学校 教務部長
		間庭憲一	H21.6	間庭接骨院院長 元同窓会長
	設置校の卒業生	梅山貴史	R3.6	育英メディカル専門学校 同窓会長
		新井信雄	H22.5	育英メディカル専門学校 参与
	学職経験者	山田 信	H29.6	群馬プロゴルフショップ 取締役
		大竹 実	H29.6	(株)テイク 代表取締役社長
		泉水清志	H29.6	育英短期大学 現代コミュニケーション学科長
		金子雅人	H29.6	前橋育英高等学校 校長
		飯島悦子	R2.6	大利根育英幼稚園 園長
富岡政明		R3.6	富岡労務管理事務所 所長	

責任限定契約（非業務執行役員 6名） 限度額 10 万円

役員賠償責任保険契約（役員 9名）（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

補償額 1 億円まで

(6) 教職員の概要

校長	副校長	専任講師	非常勤講師	事務職員	合計
1 名	1 名	15 名	9 名	5 名	31 名

2. 事業の概要

(1) 授業と行事

昨年度同様に、入学式・卒業式ともに学生・保護者・教職員のみで規模を縮小して挙行了た。新型コロナウイルス感染症の位置づけが 5 類感染症に変更され、授業や予定した行事は全て実施することができた。

授業では、成績の伸び悩みや学習意欲の低下の打開策として、新たにグループワークの時間を設けたり、学生に問題を作成させてみたりと、インプットだけではなくアウトプットすることで記憶の定着を図る方法を試みた。

行事では、球技大会を新たに実施し、学科や学年の垣根を越えてコミュニケーションをとることができ、1 年生は新たな友人をつくるきっかけになり、教職員も学生の新たな一面を見ることができ、学生対応に活かせる良い機会となった。

また、1.2 年生の就職ガイダンスも新たに実施し、資格取得のモチベーション維持や早い段階から資格取得後に対する意識を持ってもらう良い機会となった。

しかし、過去 4 年間において退学者数が最多となってしまう、退学理由は家庭の事情や病症、進路変更等もあるが、学力不振による学習意欲の低下が多くみられた。今後、基礎学力の低い学生に対するフォローを更に強化し、教職員全員で学生のフォローに取り組んでいく。

退学者数

	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年
鍼灸学科	6	5	9	11
柔道整復学科	10	12	9	11

(2) 国家試験

第 32 回鍼灸・柔道整復国家試験は、鍼灸学科がはり師きゅう師ともに全員合格し、100%を達成することができた。昨年きゅう師のみ不合格となった既卒者も合格した。また、柔道整復学科については、現役 3 名・既卒者 1 名が不合格となり、合格率 92.0%という結果となった。昨年 49.6%と大きく落ち込んだ全国平均は、66.4%と一昨年以前の平均値には戻ったが、今後も難易度の上昇が考えられるため、既卒者含め令和 6 年度の国家試験対策を既に開始している。

	はり師	きゅう師	柔道整復師
認定実技審査	令和5年10月29日(日)		令和5年11月5日(日)
国家試験	令和6年2月25日(日)		令和6年3月3日(日)
合格実績	31名受験 31名合格 合格率100% (全国平均総数69.3%)	32名受験 32名合格 合格率100% (全国平均総数70.2%)	50名受験 46名合格 合格率92.0% (全国平均総数66.4%)

(3) 学生募集

昨年度は、過去一番の入学者数99名となったが、令和6年度生は84名に留まり、充足率70%となった。前年度と比較をすると、高校生△8名・大学生3名増・専門学生2名増・社会人△13名・在校生6名増となっており、高校生と社会人の入学者が減っている。高校生と社会人へのアプローチの強化はもちろん、他の柔道整復学校や大学・専門学校を卒業してから本校に入学する学生が増加しているため、3.4年前に本校への受験を検討していた方へのアプローチもおこなっていく。

また、昨年伸び悩んだ鍼灸・柔整トレーナー専科コースは、8名の入学があり、オープンキャンパスやガイダンスでの専科コース宣伝効果が表れた。現在、わせがく高等学校女子硬式野球部に対し、定期的(2カ月に1度)に出前講座をおこなっており、スポーツトレーナーに興味を持ってきている生徒もいるため、引き続きトレーナー専科コースの入学者増加に努めていく。

令和6年度入学者

学科	学部	男	女	計
鍼灸学科	I部(午前部)	10	16	26
	II部(午後部)	10	7	17
柔道整復学科	I部(午前部)	17	5	22
	II部(午後部)	14	5	19
合計		51	33	84

鍼灸・柔整トレーナー専科コース	8名(オプション受講者3名)
予防医学コース	7名(再受講者3名)

令和6年度収容定員充足率

学科	学部	1年	2年	3年
鍼灸学科	I部(午前部)	87%	63%	53%
	II部(午後部)	60%	83%	67%
柔道整復学科	I部(午前部)	73%	67%	50%
	II部(午後部)	63%	73%	40%
合計		71%	72%	53%

鍼灸・柔整トレーナー専科コース	80%
予防医学コース	70%

令和6年度オープンキャンパス実施予定日

第1回	令和6年4月27日(土)	第5回	令和6年8月24日(土)
第2回	令和6年5月19日(日)	第6回	令和6年9月22日(日)
第3回	令和6年6月22日(土)	社会人向け	令和7年1月12日(日)
第4回	令和6年7月21日(日)	1.2年向け	令和7年3月23日(日)

入試実施予定日

第1回	令和6年7月6日(土)	第5回	令和6年11月16日(土)
第2回	令和6年8月4日(日)	第6回	令和6年12月15日(日)
第3回	令和6年9月14日(土)	第7回	令和7年1月26日(日)
第4回	令和6年10月20日(日)		

(4) 予防医学コース

令和5年度の予防医学コースは、9名の受講者で令和5年4月12日～令和5年9月13日の期間、全18コマの講座を予定通り実施することが出来た。また、オンラインでも受講可能となり、リアルタイムでの配信と録画動画の配信をおこなった。対面受講者には終了証が授与され、引き続き講師の関根沙耶花先生のフォローアップを受けながら患者の健康を守るために学びを続けている。

受講者9名の内訳は、在校生4名・卒業生1名・医師1名・看護師3名となり、県外から本コースを受講するために引っ越しをしてきた方もいた。

予防医学の必要性がもっと世の中に伝わるように発信していきたいと考えている。

(5) 鍼灸・柔整トレーナー専科コース

令和5年度の鍼灸・柔整トレーナー専科コースは3名でのスタートとなった。専科コースに所属していない学生もオプションコースとして受講できるようになり、スポーツ栄養学2名、トレーニング指導演習1名が受講をした。

外部実習では、新たに群馬グリーンウイングス(群馬銀行)や群馬ベースボールアカデミー(少年野球)で実習をさせて頂き、競技特性に応じたケアやトレーニングを学ぶことができた。引き続き、様々な分野で実習がおこなえるように新規開拓をしていく。

また、募集において令和5年度は3名にとどまってしまったため、オープンキャンパスやガイダンスで更にアピールをして、入学者増に繋げていく。

(6) サポート体制

国家試験対策、学習サポート(ゼミ、補習、スマ問)、キャリアサポート、メンタルサポートなどを中心に学生ファーストの体制で、学生たちが充実した学校生活を送れるよう、ま

た目標を達成できるように、教職員一丸となって努めてきた。

特に国家試験対策では、国家試験が近づくにつれてメンタル面で体調を崩す学生に対し、本人が学びやすい環境での学習提案をおこなったり、柔軟に対応した。

(7) 施設整備

大きな設備投資、備品購入はなかったが、経年劣化により修繕が必要になった場所や、学生駐車場の整備をおこなった。また、イクメ接骨院で使用している超音波治療器が故障してしまったため修理をおこなった。

主な施設・設備・ソフトウェア・修繕

- (1) 学生用ロッカー（不足分）
- (2) 学生駐車場出入り口舗装、番号引き直し
- (3) 学生用女子ロッカー壁修繕
- (4) 3F.4F パルコニー防水工事、外壁補修
- (5) 3F 誘導灯交換
- (6) 1F 非常用ベル交換
- (7) 教室等蛍光灯器具交換（一部）
- (8) イクメ接骨院超音波治療器具修理
- (9) 鍼灸実技室排水管工事

(8) 部活動

【野球部】

- (1) 2023 EAST 大会群馬県予選・・・優勝
- (2) 2023 EAST 本戦・・・雨天中止
- (3) 2023 全国専門学校軟式野球選手権大会 群馬県予選・・・準優勝

【サッカー部】

- (1) 第 29 回群馬県専門学校サッカーリーグ・・・準優勝
- (2) 第 33 回全国専門学校サッカー選手権大会 北関東予選・・・第 3 位